

社会福祉法人「豊中のぞみ会」チャリティコンサート



戸田弥生 ヴァイオリンコンサート



遂に、エリザベート王妃コンクール優勝者登場！



公演日：2014年7月20日(日)

午後2時30分開演(2時開場)

入場料：2500円(自由席)

会場：日本キリスト教団 豊中教会

ピアノ：杉江千恵子

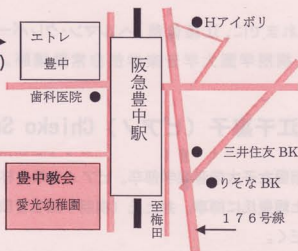
豊中市末広町1-2-28 電話：06-6852-3078

交通：阪急 宝塚線豊中駅から徒歩3分 (地図参照) →

チケット/お問い合わせ：06-6843-6666(豊中のぞみ会)

<プログラム>

- 第1部
- あまいろの髪乙女……………ドビュッシ
 - 無伴奏パルチータ3番……………バッハ
 - シャコンヌ……………バッハ
- 第2部
- 愛の喜び……………クライスラー
 - 愛の悲しみ……………クライスラー
 - 美しきロスマリン……………クライスラー
 - タイスの瞑想曲……………マスネ
 - 中国の太鼓……………クライスラー
 - ツイゴイネルワイゼン……………サラサーテ



主催

豊中のぞみ会チャリティコンサート実行委員会

協賛：豊中のぞみ会後援会

後援：豊中市手をつなぐ親の会

協力：日本キリスト教団 豊中教会

戸田 弥生 (ヴァイオリン) Yayoï Toda

1993年エリーザベト王妃国際音楽コンクール優勝以来、日本を代表するヴァイオリニストの一人として、圧倒的な集中力による情熱的な演奏で聴く者を魅了している。

日本の数多くのオーケストラはもとより、ニューヨーク・チェンバー・オーケストラ、モスクワ・フィルハーモニー、プラハ・チェンバー・オーケストラ、ハーグ・レジデンティ管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団、ボン・ベートーヴェン・ハレ管弦楽団、北オランダ・フィルハーモニー、セント・マーティン・アカデミー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー、ベルガモ室内オーケストラ、ドイツ・カンマー・フィルハーモニーなどに出演し、また、小澤征爾、ユーリー・シモフ、シュロモ・ミンツ、ジャン・ジャック・カントロフ、アレキサンダー・シュナイダー、スタニスラフ・ブーニン、ジャン・フルネ、ガリー・ペルティエニ、マルタ・アルゲリッチ、フランク・ブラレイ、アブデル・ラーマン・エル＝バシヤ、ジェラルド・コセラとも共演している。

4歳からヴァイオリンを始める。1985年第54回日本音楽コンクール第1位。1988年第1回淡路島国際室内楽コンクールのプロ部門第1位。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業し、1992年アムステルダムのスウェーリンク音楽院に留学。

1993年エリーザベト王妃国際音楽コンクールに優勝して一躍注目を集め、本格的な活動を開始する。1996年にはニューヨークのジュリアード音楽院から“ディレイ・スカラシップ”を受け、1年間在籍。

1997年にニューヨーク・デビューを果たし絶賛を受ける。また、オランダの作曲家トリストラン・コイリス(1946～1996)から「ヴァイオリン協奏曲第2番」(1995)を献呈され、アムステルダム・コンサートヘボウで初演した。

1999年にカーネギー・リサイタル・ホールで室内楽を中心としたリサイタル「Yayoï and friends」を開催した。

2010年11月にピアノのヴァレリー・アフアナシェフとのデュオを東京および福井で行なった。デビュー20周年を迎えた2013年には、東京、大阪、神戸、福井にて、協奏曲、デュオ、無伴奏等多くの舞台上で大好評を博した。

これまでに、江藤俊哉、ヘルマン・クレパス、シャルル・アンドレ・リナール、ドロシー・ディレイの各氏他に師事。桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。2014年度より、フェリス女学院大学音楽学部演奏学科教授。

杉江千恵子 (ピアノ) Chieko Sugie

相愛女子大学音楽学部卒。ピアノを故小林とし、故井口愛子、村上弦一郎の各氏に師事。室内楽をチェリストの故井上頼彦氏に師事。井上氏(桐朋学園名誉教授)とは、彼の最晩年20年間伴奏者として日本各地で演奏をさせていただく。

そのほか学生音楽コンクールの公式伴奏者、各種コンクールの伴奏に長年携わる。近年は弦楽奏者、声楽家たちとの様々なコラボを楽しんでいる。



photo (c) Akira Kinoshita